

木馬会会報(第23号)

有馬記念特集

～木馬たちの予走(有馬記念編)～

予走者 TP

やっとプレッシャーから開放されることになりました。これで自由奔放な予想ができそうです。しかしここで私が外して、へなりんが20倍以上を的中すると来春のGI本誌予想欄を譲ることにかなりかねないので、本気で当てにいかねばなりません。

有馬記念

◎…ナリタブライアン

△…マチカネアLEGRO、アイルトンシンボリ、ヤシマソブリン、ダンシングサーパス、サクラチトセオー、ステージチャンプ

…予走者の屁理屈…

さて、最後の大一番。一頭ずつ評価していこう。まずハナを切るツインターボ…問題外。休み明けライスシャワーはもともと叩き良化型といわれていた馬。去年のトウカイテイオーの真似をしようたってそうは問屋がおろさないぜ、Baby。今度こそ今度こそと狙い続けたマチカネタンホイザだが、もうそろそろ気付いてもいい頃。どんな展開になろうが、どんな相手であろうがGIでは着止まり、そんなナイスネイチャにますます瓜二つ。二つどころか10個ぐらいあげたい。このへんが潮時。そこのあなた、いつまでも未練がましく狙っていると痛い目にあうよ。調子を崩し始めたリアルシャダイ産駒のムッシュシエクル。血統は叩いたからといって一変するものではない。大負けするだろう。ここまでの5頭は自信を持って消す。

続いてネーハイシーザー。この馬はメジロパーマーと違ってスピードが売り物の逃げ馬。(逃げ馬ではないが)タイプとしては、オサイチジョージやカツラギエース。展開的にも2番手をキープでき、うまく残れそう。ただしあくまでもやはりスピード馬。4、5着までは来れてもそれ以上はどうか。ヒシアマゾンとチョウカイキャロル。実はこの2頭を消すのは非常に辛い。エリザベスは今年最高のレースと言ってもいいくらい素晴らしいレースであった。特に重賞連覇記録、連対記録に見向きもせず、牡馬相手のこのレースに挑戦してくるヒシアマゾンには、百万本の薔薇をあげたいくらいだ。それと同じくらい清いのが檜の女王チョウカイキャロル。これからライバルとして戦い続けるであろうヒシアマゾンを追って中山までくるこの地味な実力馬にも50万本ぐらいの薔薇をあげたい。しかし心を鬼にすると、やはり牝馬では辛い。とくに今年のような混戦で、最後の2着争いが叩き合いになるようなレースでは、牝馬では辛いのであるよ。ここは涙を飲んで見送ろう。毎

年何かが起こる有馬記念。今年何かが起こるとすれば、インターグロリア以来15年振りの牝馬の連対か、ダイユウサク級の穴馬の連対と思い、私は後者を予想しているのだ。ごめんね、アマゾンちゃん、キャロルちゃん。でも今まで以上の愛情が、この寒さも厳しくなった師走の人込みの中で震える心の中に生まれてくることを、私にとめる術はない。この3頭は、来ても不思議ではない。

自信の大本命はやはりナリタブライアン。強さは今更いうことはないが、とにかく欠点がない。スーパークリーク、マックイーン、ピワハヤヒデらに共通するスパッと切れる瞬発力の不足、イナリワン、ライスシャワー、ミスターシービーらにとってネックとなった展開の向・不向、それらに対する不安がまったくない。私は、もしかしたら皇帝シンボリルドルフ以上に強い馬かもしれないと思っている。となると史上最強馬。史上最強馬がこの相手で負けてはいけないのである。いけないし負けないであろう。3馬身以上の差をつけて勝つはずである。今年全レースを振り返っても5本の指に入る堅い軸馬。事故がない限り、勝つ！この馬を本命にしない人がいるとしたら、それは馬の故障を予知した超能力者以外の何者でもない。そんな超能力を教えて頂戴。

馬連の1番人気の組み合わせでも、6倍はつくと思われるから、6頭までヒモをあげておこうと思う。1番手はMアLEGRO。あれだけ条件の違うレースできっちり勝ってきたあたり、相当の能力をもつと見ている。まだ対戦していないYソブリンを逆転していると思う。瞬発力もあるし、勝負根性も十分。この馬で10万円コースを狙う。続いてそのアLEGROと大接戦を演じたAシンボリ。ハンデの58.5キロはとてつもなくきつい斥量であったはずなのにあの伸び。春とは見違えるような成長振りである。斥量が2.5Kg軽くなることも非常に大きなプラス材料。やや瞬発力不足の印象があるがそこは名手岡部、なんとかするだろう。同じくA共和国杯で接戦を演じたSチャンプの57.5キロ、ステイヤーズSの58キロ(この馬にとっては距離が長かったと見ている)というハンデも楽ではなかったはず。ローテーションから見ても今度はぎりぎりの仕上げで来るだろう。復調気配+冬場に強いリアルシャダイ産駒。菊花賞の二の舞があっても驚けない。さてここで問題のYソブリンを取り上げることにしよう。これとブライアンの組み合わせがおそらく1番人気になるだろうが、菊花賞2着なのだからしょうがない。だがその内容を見てほしい。勝ちにいったとはいえ、7馬身差。3着に2、3馬身つけているのならともかく、6着のインターライナーとの差はわずか0.4秒なのである。GIだからと特別な考え方をしてはいけない。例えば900万条件特別でこういう馬が2番人気になったなら、皆おもしろいレースだと思うだろう。そう、飛ぶ可能性の高さを感じさせるからだ。もう一つ、この馬が人気になるのは今年の4才馬のレベルが高いといわれているからだが、果たしてそうだろうか。確かに

春の実力馬が順調に使われている牝馬勢は例年になく強い。しかし、この時期は毎年4才馬が活躍し、そして同じ様に“今年の4才は強い”といわれている。スターマン、エアダブリンが古馬相手の重賞に勝ったというのもその判断基準の1つである。だが、そのレースを冷静に振り返ると、500万条件を勝ったばかりの馬が2着にくるような鳴尾記念にGⅡとしての格はあるか？ステイヤーズSもステージチャンプ以外に重賞常連馬がいたか？ファンが多いのでこういうことを書くと反感を買うだろうが、スターマンは、同じく鳴尾記念を条件馬相手に圧勝したナイスネイチャに瓜5つと思えるのだ。今後もNネイチャと同じような路線を歩むだろうが余り信用してはいけないと思っている。ということだが、この馬があっさり2着にきてもしょうがない。だが押える程度しか買わない。さて、過去4才馬で連対したのは、シンボリルドルフ、オグリキャップ、トウショウボーイ、テンポイント、ミホシンザンなど、ビックネームがずらり。Mアレグロ、Yソブリンがそのレベルまであるかというところちょっと疑問なので、穴としては古馬を狙いたい。勝ちにいかずに首取りに徹する馬でなければ今回は潰れる。春にはGⅠ連対まであとすこしだったDサーパス。秋は得意でない距離（この馬にとって短距離は絶対に向かない！）と、連闘で十分な条件で戦ったことが一度もない。やっと前走でそれらしいところを見せ、有馬で春と同じ条件までもってこれた。期待通りの3着で味噌をつけ、ここは確実にブービー人気。ビワが故障した時点で有馬の穴と指名した馬が順調に使われ、予想通りの着順で来た。ここで狙い打つ。ブービー人気に熊沢と余りにあのダイユウサクににすぎていて逆にきそうもないが、距離適性、実績を冷静に考えるとこの馬が一番魅力がある。50倍は堅いだろう。Sチトセオーは能力はあるが、やや距離が長いのと、オープン大将になりつつある点、2500で差し切るほどタフではない点、それと何といっても距離が長いといっても何の工夫もしないであろう太の騎乗が大幅減点。軽く押える程度。

予想者 覆面デスラー

今年も早いもので、競馬の祭典「有馬記念」がやってくる。1年を振り返ると、ナリタブライアンとビワハヤヒデ兄弟一色の1年だったが、ご承知のように、ビワハヤヒデは残念ながらターフを去った。今年の有馬記念は兄の仇討ちとばかりブライアン一色に染まることになるだろう。しかしブライアンは絶対と言えるだろうか。強い4才馬と言われる中で、ぶっちぎりで3冠を達成したことには、最高の評価をすべきであり、また馬券作戦においてもこれをはずすのは愚の骨頂とも言える。

ところがよく考えてみよう。ブライアンの弱点を捜すところに有馬のドラマがひそんでいないだろうか。皐月賞での殺人的なハイペース、菊花賞でのステイールキャストの大逃げにもまったく動じなかったブライアン。これから推測すると間違っても連ははずさないと考えるのは当然であろう。初めて古馬との対戦、一流の古馬との厳しい流れが予想される中、本当に持ち味が発揮できるのか、といった疑問は杞憂に終わるかもしれない。

しかしである、有馬記念のドラマがあるとすればそこにある。歴戦の古馬たちがつけないスキはかすかに残されているというのも事実だ。予想される展開を考えてみよう。

まず、ツインターボの単騎逃げはだれもが承知しているところ、これにネーハイシーザー、チョウカイキャロルの先行馬が続き、さらにライスシャワー、アイルトンシンボリ、ヤシマソブリン、ブライアンたちが続くといった展開。こうした展開面を考えると、先行勢に有利な流れとなることは言うまでもない。差し馬たちは仕掛けどころを間違えると、命取りになるといった展開が予想される。

そこで展開面で一番有利なネーハイシーザーに◎を打つ。天皇賞の勝ちっぷりはマグレではないし、ビワハヤヒデ、ウィニングチケットのライバルが引退し、6才になっても現役を続けることを表明した同馬は、このドラマを語るにもっともふさわしい馬ではなかろうか。「強い4才馬」を語る前に「もっと強い5才馬」を忘れてはいけないのだ。一見、ネーハイシーザーには距離の不安もつきまとうが、過去の大敗は本格化前の話であり、おそらく中山の2500Mをスピードで圧倒するだろう。

相手にはナリタブライアン、ムッシュシュクル。ナリタブライアンは前述の通りこれまでの実績に敬意を表そう。ムッシュシュクルは、ここ2戦凡走しているものの春の実績から見逃すわけにはいかない。もともと叩き良化型であり、人気もさほど無く気楽に乗れる強みもある。鞍上もここ一番に強い藤田騎手。また春の天皇賞では「もっと強い5才馬」ビワハヤヒデ、ナリタブライアンに苦汁を飲まされており、ネーハイ、ブライアンへの闘志にも並々ならないものがあるだろう。ドラマを演出するにはもってこいの脇役だ。

馬券作戦はこの3頭の3点買いを本線とし、それからサクラチトセオーへも、少々押さえる。そういえば秋の天皇賞はネーハイとチトセオーの1点勝負だったっけ。よくこういうのが来るんだよね。おまけにドリームレース連続連帯を狙うアイルトンシンボリも一応押さえとこ。それではメリークリスマス！

【結論】

◎ネーハイシーザー

○ナリタブライアン ▲ムッシュシュクル

△サクラチトセオー、アイルトンシンボリ

予想者 へな

有馬記念

◎…ナリタブライアン

○…ヤシマソブリン

▲…ヒシアマゾン

△…アイルトンシンボリ

△…ナイスネイチャ

…予想者の屁理屈…

いくら強くても、とてつもない逃げ馬であったり、強烈な追い込み馬（私は大好き）であったりすれば、展開の如何などによって波乱がおきること多少はあるだろう。しかし、中段よりやや前につけて「鬼脚」でぶっちぎるブライアンにはひとかけらの不安もないと言っている。先行したって（皐月賞）追い込んだって（スプリングS）圧勝できるのだから何も言うことはない。大本命だ。

ここまでは誰だって同じ。相手に何を選ぶか。今年最後の“へな”の戯言を是非聞いてほしい。

パーフェクトに近い評価のブライアンだが、足元をすくわれるとすればあのスターマンのような形しかない。ブライアンは今まで内で包まれるようなバカなことを避けるために必ず4コーナーで外目を回って安全策を取ってきた。(能力が一枚も二枚も抜けているからこそできることである)そのため、うまくインに潜り込み、いい脚を使えるときだけが唯一のチャンスとなるはず。混戦の中でこれができるような器用な脚のある馬こそが連に絡む確率の一番高い馬であり、対抗の一番手に相応しい。それは何か。ヤシマソブリンとアイルトンシンボリである。ヤシマソブリンは菊花賞で7馬身千切られたうえ、上がりでもブライアンの34.6秒に対してヤシマは35.6秒と3000Mで1秒の差もつけられており乾杯を喫している。矛盾しているかもしれないがブライアンには99%勝ち目はないといえよう。しかし、いつでも動けるといいう自在性と、いい脚を長く使えるというこの馬の最大の長所を生かせれば、小回りの中山でブライアンに一番近い位置に来れるとみた。番付では横綱ブライアン、西の大関スターマンに東の大関ソブリンであり、古馬相手に鳴尾でスターマンが圧勝したのだから、それ以上にソブリンもやれる。

宝塚で対抗に推し、見事2着にきたアイルトンシンボリ。4歳5歳の頃はジリッっばいイメージがあったのだが、岡部様のお陰か(?)最近では切れるようになってきた。前走ではアレグロに負けはしたものの、58.5キロという過酷な斤量を背負ってアレグロより0.3秒も速い34.5秒の脚を使っており、さすがと思わせる内容だった。アイルトンが普通の馬ならば2着にも来れなかっただろう。その激走の疲れが残っていることが唯一の不安なのだが、おそらく心配あるまい。神様仏様岡部様(このフレーズも結構浸透した気がする)だけにこの馬の最大限の力を発揮させて、怪物ブライアンに立ち向かうだろう(どの馬も自分の力をフルに発揮しなければブライアンにはかなわない)。G I (宝塚)の2着馬というイメージがあまりないどちらかといえば地味な馬だけに、ここでは是非とも頑張ってもらいたい。そして両グランプリで“へな”に夢を見させてほしい。

ヒシアマゾン。改めて言う必要もないが、この馬の強さはハンパでない。1200, 1600, 2000, 2400 とあらゆる距離で、しかもすべて重賞を勝つのだからこの馬の絶対能力には本当に恐れている。前走初の2400で、終始後方を進み直線外を回っての差し切り勝ちの後、中館曰く「馬のいく気にまかせただけ。ジョッキーは何もしていない。」というから呆気にとられるだけである。ただ、今回は今までのようには決して楽にはいかない。アマゾンの強さに中館のアシストが加わなければ(中館君も結構上手くなった)ブライアンには太刀打ちできないだろう。ブライアンを倒せる可能性が一番もった馬には間違いない。4歳牝馬だからという理由だけで軽視すると痛い目に遭うだろう。

忘れてならないのが人気の落ちたナイスネイチャ。私はあまりこの馬を買わないが(決して嫌いではない)今回は狙い目だ。今回のような4歳5歳中心の混戦レースでしばしば穴をあけるのが高齢の実力馬であり、それがナイスネイチャである。有馬記念3年連続3着は誰もが知る事実だが、「3着ではしょうがない」という人が多く、私の近くにもそういう人がいる。しかし“へな”は決してそうは思わない。3着は2着に一番近く、あと一步で連に絡む

(このあと一步が大変なのだが) ことができるのであるから、決して悲観することではなく、むしろ大変評価すべきことであると思う。7歳でも上がり目は無いことは認めるが、下降線ということもない。その証拠にG IIの高松宮杯を大外一気の強い内容で勝っているし、秋の天皇賞では7着だったが、凄い脚だと思ったタンホイザよりも0.1秒速い34.4秒の上がりでも駆けている。ごちゃついた展開になれば最後にこの馬に出番が回ってくることも十二分に有り得る。「去年まではしっかり買っていたのになー」なんてことにならないように気をつけた方がいいだろう。

ここまでが“へな”の狙う馬であり、ネーハイもチトセオーもアレグロも印はつけない。その理由は下に書きますが、またバカなことをいってると思って軽く流して下さい。

ネーハイシーザー…ブライアンの驚異的な末脚を十分すぎるくらい知っている為、持ち前の先行力を生かして、4コーナーで出来る限りブライアンを引き離してゴールに粘り込む作戦をとって、天皇賞馬のプライドに賭けてブライアンを負かしに行くにちがいない。しかし、この作戦が逆に致命傷となって沈むことになる。2200の宝塚で2番人気ながら5着に敗れた距離への不安や、2か月も間があいて調整が難しいうえ、冬場で体が絞りにくく太め残りの不安もあり買いにくい。

サクラチトセオー……距離の不安は無いと思う。しかし、天皇賞で抜群の位置にいて勝ち切れないところにこの馬の弱さがある。不利が無ければ2着はあったとか言われているが、不利があっても突き抜けるような根性がなければ混戦になるG Iでは難しい。まして今回は最高のメンバーの揃う有馬であり、不利の一つや二つは覚悟しなければならないはずで、ちょっと厳しいか。

マチカネアレグロ……4歳でアルゼンチンを制した実力は評価できるが、この馬の上がり34.8秒が、58.5キロのアイルトンの34.5秒、さらには57.5キロのじり脚ステチャンの34.7秒にも及ばないという点が気になり、善戦はすると思うが今の時点では勝ち負けは厳しかろう。ただ、この馬は5歳になってから必ず力をつけてG Iで活躍するようになってくるはずであり、今後が非常に楽しみな一頭だ。

ライスシャワー……気性で走るタイプだけに、たとえ休み明けでも彼自信が走る気になっていれば好戦は可能だと思う。ただ休み明けといってもグランプリの有馬だけに苦しすぎる気がする。ちょっと怖い。

フェアリーS

エイシンバーリンや久々でもプライムステージは強い。変に外さないほうがいい。穴におもしろいのはチェリーホラーやスノービューティだろう。一つだけ、サクラキャンドルは要らない。

ポーパフルS

いやだけどヘイアンショウゲンで連は堅い。

クリスマスステークス

危険なエアリアルに、おいしいオギティファニーとシスティーナ。

毎回、自分の予想には自信をもっているし、決していい加減な予想はしていない。しかし予想したレースに間に合わなかったり（特別レース）、予定金額よりも減らしてしまったりということがあって、やや消化不良のところがあるので、今回は自分の予想・印の順番に馬券を買って今年最後のBIGイベントを楽しみたいと思っている。皆さんよい有馬を。そしてよいお年を。……へなでした。

※おまけ…＜地方競馬情報＞

12月23日 大井競馬場 第40回東京大賞典

（へな）注目の有力馬…ガンガディーン、ドルフィンボーイ

12月29日 川崎競馬場 第45回全日本3歳優駿

12月31日 川崎競馬場 第5回ロジータ記念

大晦日は競馬で楽しく締めくくりましょう！！

ラッキー桑島の独り言

★◎…サクラチトセオー

○…ナリタブライアン

▲…ヤシマソブリン

△…マチカネアレグロ

△…アイルトンシンボリ

△…チョウカイキャロル

今回のNネイチャは非常に不気味だが…

注 ★印は単勝バクダンマーク

毎年有馬記念のレースの後にはなんとも言えない感慨深さが残るが、今年のメンバーもそれぞれに思い入れがあり、レースの後にはなんとも言えない気持ちになるのだろう。いずれにしても1年間の総決算、夢のグランプリである。桑島は強さの比較ではなく単純に思い入れの強い馬から狙う。中山記念で世紀の大斜行、関東の切り札といわれた宝塚では関西の水があわず、京王杯では驚異の記録、天皇賞ではめずらしくインを突いたらよられ、バクシンオーのためにわけもわからず富士Sとこの1年間（1年とはいわずデビューしてから）ことごとく期待を裏切ってきた小島チトセオーにツイテなかった今年最後の夢をかけてみる。究極のG1レース修飾馬Tターボがでてきたので、縦長の底力勝負というNブライアンにとって絶好のレース展開になり、ダイユウサクが勝った時のようにダンゴ状態からの用意ドンという展開にはなりにくく、チトセオーにはかなり不利である。まして小

島が2週連続G1制覇など芸者ガールズのレコード大賞よりも確率の低いことなど起きるわけがない。が、敢えてここはチトセオーに減税プラス年末調整もどり分をゲットしてみる。（年間100万負けるも150万負けるも同じじゃ〜）相手は上記の馬だが中でもマチカネの2頭が強力、牝馬ならTキャロルのほうが応援したいのでこちら、Rシャワーはテイオーの二番煎じなのでこないだろう（そういつててJCではMクラウンとPクレークで昨年と同じ組み合わせだったけど）いずれにしても勝つのはNブライアンだろう。今年の回顧は22日にするとするが、今年も本当に素晴らしいレースが多かった。これだからやめられないのだ。

「あなたの夢はなんですか？」

私の夢はサクラです！」

（馬ごみが2周目のむこう正面のところに関西TVの西本アナ調で画面にむかって問い掛けて下さい）

今週の公式（類似品が出回っていますので注意して下さい）

JCで穴人気（G1勝ちの実績馬）×JCで凡走

×有馬の予想でなにげなく見過ごしてしまう＝1/2馬身以内の接戦で1着

（やっぱり強いんだな〜）

良血のサクラ×前哨戦圧勝×本番で裏切られるとわかってて買ってしまふ

＝やっぱり墓参り

予想者 ミスターX

有馬記念

◎…ナリタブライアン

○…アイルトンシンボリ

▲…マチカネアレグロ

△…チョウカイキャロル

△…ライスシャワー

今年のG1は荒れなくて私にとっては興味の湧かないところですが、どうやら最終の有馬記念もやはり……。

◎については敢えてコメントをするつもりは御座いませんで○について一言。

まず前5走を見てみよう。メイS、相手はシュアリーウィンだったが見事に勝利。続いて宝塚記念、好調ビウハヤヒデの2着。高松宮杯、復活ナイスネイチャの0.3秒差。阪神大賞典、JC勝ちのマーベラスに時計差無しでの2着。そして前走のアルゼンチン共和国杯では上がり馬のレコードで勝ったマチカネアレグロに負けたとは言え0.1秒差の2着。どうですかこの実績、目を見張るものがあるとは思いませんか。今回もパートナーは絶好調岡部とくればこの馬で間違い無し。

残りはアイルトンに勝っているマチカネを▲に、距離適性と前走からチョウカイと的場騎乗でどんな復活を見せるか楽しみなライス△にしてみました。

中間のアマゾンの時計があまりにも凄いので何とも言えないが、私の予想は以上です。でも、やっぱり牝馬は一枚割引。そして、ダイユウサクの様な事があっては困るのでダンシングにも要注意。

フェアリー S

- ◎…エナジーストーン ○…プライムステージ ▲…ノースショアー
△…ミスダンジグ △…シェイクハンド

中山千二で復活を掛ける、いや掛けて欲しいエナジーストーンが◎。相手はサンデーサイレンス産駒の2頭にちょっと気になる△2頭。自信は無いがエナジーに勝って欲しいと言う期待から……。



ラジオたんば杯3歳S

- ◎…ナリタキングオー ○…タヤスツヨシ ▲…エイシンプリンス
△…タニノリファーズ △…ナリタオウインス

横典でも前4走の成績。これはものが違う。おまけに今回は武が騎乗とあれば間違い無しであろう。相手は前走同じ阪神芝二千で勝っているタヤスツヨシ。馬券的妙味には欠けるがちょっとした資金源にはなるであろう。その他は書かなくても良かったが、一応この順で。

クリスマスステークス

- ◎…オギティファニー ○…エイシンバーモント ▲…アイリッシュダンス
△…キョウエイボナンザ △…エアリアル

ここは何と言ってもオギティファニー。ずっとこの馬を追っていることもあるが、不安を感じていた前走、しかも、東京で勝った事により自信を持ってこの馬を推奨しよう。

クリスマスでもあるし一時流行ったティファニーのプレゼントはいかが……。

相手はエイシンバーモント。近走いいところが無いが千六は5戦して2勝、2着1回、着外2回とまずまずの成績、調教次第で狙って見ようと思います。アイリッシュは実力通りなのでこれ以上は落とせない。キョウエイは前走の愛知杯で最終的に本命にしたが落馬の不利を受け競馬にならなかった。今回は前走の様な事は無いと思うが中山の坂が気になるので△まで。エアリアルは前走無残な4着。多少ズブくなってきているので千六と距離が延びるのは好材料。

今年最後の週。皆さんサンタの贈物をしっかり受け止めて良い新年を迎えましょう。年末の忘年会シーズンですが決して調子に乗り過ぎて予想の手を抜くなんて事がない様にしましょう。

P. S. 酔って運まで吐き出さない様にね。へな君。

予走者 有馬記念

いまや年末の国民的行事となった有馬記念。世紀の兄弟対決が見られなかったのは残念だが、それでもそうそうたるメンバーが揃ったこのレースは、間違いなく大一番、大ハイアンだと思う。というよりも、ずいぶん多くの馬が、このレースで、大一番、大ハイアン、大ハイアンのような気がするのだ。……。

問題は、2着争いだが、……。

何にしても、泣いてる……。

◎…Nブライアン

△…Aシンボル

予走者 四国の井崎

有馬記念

- ◎…ナリタブライアン ○…サクラチトセオー
△…ネーハイシーザー、マチカネアレグロ、ムッシュシェクル、アイルトンシンボリ
…予走者の屁理屈…

クリスマスの日に行われる有馬記念。だからチョウカイキャロルよ、なんて声も聞こえてきますが、やはり今年はナリタブライアン！シンボリルドルフが達成したようにあっさり抜けると思います。

しかしながら2着争いがまったく混沌。したがってNブライアンから梓、馬の5の目買いで流してみます。

一応井崎的な予想としては、ドリームレースなので、その暗示があった3枠が狙い目か
と思います。12月10日中山12Rの3枠にドリームチームとホリユメスキーが同居。これで
この枠がそのレースに連絡しなければ確実だったのですが、連対してしまったので50%
の信頼度になってしまいました。去年、一昨年と3枠が出ているので出目としては3枠は
強いと思います。

牝馬は消します。ヒシアマゾンエリザベス女王杯の後かいたように距離が持たないと
思います。とにかく強い馬というのは認めますが、今回は嬉しい鴨になってくれると信じ
ています。去年ベガで勝負して完敗した教訓からも有馬では牝馬はいらないというのが私
の見解です。

2番手はSチトセオー。問題騎手小島太が先週のサクラローレルのような乗り方ができ
ればOK。ジャパンカップをパスしたローテーションに好感が持てます。ほとんど差がな
くNシーザー。10年前のシンボリルドルフカツラギエース的パターンで決まると思えば
この馬しかいない。Mアレグロは前走で本格化。特注馬ですが、1走多いかな？と思いま
す。只若駒ゆえに耐えられることを期待。MシェクルはGⅡ3連勝は伊達にはできません。
先週、アルゼンチンタンゴが復活しましたが、この馬にも復活してもらいたいものです。
好きな藤田騎手なので応援。（本当はスターマンで挑戦してほしかった）

とにかく天皇賞のような激戦を期待しています。今年のGⅠは堅いレースが多いですが、
20倍ぐらいで決まりそうな予感がしています。

皆さんの中してどうぞよいお年をお迎えください。

インペリアルドールの5の来年一年分の保険料を払い込みましたので、ここまでの一口
馬主予算報告を致します。

徴収金	350,000円
入会金	— 20,000円
一口購入代	— 250,000円
振込手数料	— 566円
保険料	— 11,500円
振込手数料	— 309円
	67,625円

以上でございます。なお、近況を添付いたしましたが、これは、インペリアルドールの
5の馬主用に作られたものと思われますので、“かなりの素質がある”という文句をダビ
スタの牧場長がいう言葉と同じ様には受けとらないほうが良いでしょう。

出資馬の近況報告

平成6年12月10日

埼玉県桶川市2-6-37
株式会社 東日本愛馬会
代表取締役 醍醐 賢一

馬名	入厩先	近況
ブルーティオー	栗東 福永 甲	11/18帰厩 約2年の放牧でかなりおっとりしている。出走には時間がかかりそう。坂路2本ずつ消化。
ミウエイマリノス	栗東 小原	12/4 中京 12R 1着 6日歩様異常 レットゲンの結果球節骨折が判明 登録抹消
チェスナットボーイ	栗東 野村	12/10 阪神 障害オープンに格上挑戦 5着 格上の他7頭12キロでは無理も無い。自己条件戦は1月末
スイフトスプラウト	栗東 野村	12/11 阪神 8R 4着 休み明けにしては良く健闘した。12/24,25の1800メートルの予定
サラノ	栗東 福永 甲	順調に乗込みを続けている。鼻前に立つと噛みついてくるくらいの気合い。15-15だが20日過ぎから速めをやってみる。
ユキノサクラ 4	厚木 高木育成	化骨不良の為中央競馬登録を断念。大井 佐々木忠昭厩舎の予定。大井で頑張ります。応援して下さい。
キューティー	美浦 大久保	順調 来年1月デビュー予定
キャリトリーム	美浦 諏訪	5日迄順調に来ていたが、腰に疲れが出たため笹針治療1月デビューの予定だったが、遅れそう。
クリスタルブリー	栗東 清水 久	12/9 ゲート試験合格 ゲートの出は、速いが二の足が今一つの事。坂路2本ずつに、時々ダート併走強め。
ケセラセラ 4	栗東 崎山	12/18 栗東トレセン入厩予定
ヘルツォーク 4	茨城 小野瀬ファーム	股関節脱臼(膝骸骨)の為調教停止中。休養して関節が良化次第調教再開する。
インペリアルドール 5	浦河 岡崎牧場	期待通りかなりの素質がありそう。1月下旬から浦河のJRA育成センターにて乗込みを始める予定。
スイートジョージ 5	滋賀 湖南牧場	順調に調教を進めている。
ヘルツォーク 5	門別 マル松牧場	順調に調教を進めている。
サクラツボミ 5	様似 木村牧場	順調に調教を進めている。
プリンススラム 5	静内 目名育成	順調に調教を進めている。
ローズヘイ 5	静内 目名育成	順調に調教を進めている。
カナイナーザリー 5	浦河 岡崎牧場	順調に調教を進めている。1月下旬から浦河のJRA育成センターにて乗込みを始める予定です。

今年の最終号です。皆さん9週間ご苦労さまでした。会報は年始は休刊といたしまして、
1/20・AJC杯特集からスタートしようと思います（あくまで会員の原稿の量次第）。な
お、馬柱も来春の桜花賞までお休みです。

第39回有馬記念

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番 号
			ライスシャワー	ヤシマソブリン	ムッシュシエクル	マチカネタンホイザ	マチカネアレグロ	ヒシアマゾン	ネーハイシーザー	ナリタブライアン	ナイスネイチャ	ツインターボ	チョウカイキャロル	ダンシングサーパス	ステージチャンプ	サクラチトセオー	アイルトンシンボリ	馬 名
...	...	...	...	△	...	...	△	...	...	◎	...	...	...	△	△	△	△	T P
...	...	...	...	○	▲	...	...	▲	◎	○	△	...	...	...	...	△	△	覆面デスラー
...	...	...	...	▲	...	...	△	...	...	○	...	...	△	...	...	◎	△	へなりん
...	...	...	...	○	...	...	...	...	△	◎	...	...	▲	...	...	...	△	ラッキー
...	...	...	△	○	...	...	▲	...	△	◎	...	...	△	...	...	...	▲	トウインクルダンディ
...	...	...	...	...	...	...	...	...	○	◎	▲	...	△	...	...	...	○	ジュワイヨクチュール
...	...	...	...	○	...	...	▲	...	...	◎	...	...	△	△	...	...	△	ミスターX
...	...	...	...	...	△	...	△	...	△	◎	...	...	...	△	...	○	△	Y O
...	...	...	...	...	...	...	...	...	△	◎	...	...	...	...	...	○	△	ナニワのラッキー
...	...	...	...	...	...	...	...	...	△	◎	...	...	...	...	...	...	△	四国の井崎

	天秋	菊花	エ女	マC	JC	阪北	朝日	スブ	有馬
T P	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
覆面デスラー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
へなりん	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ラッキー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
トウインクルダンディ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ジュワイヨクチュール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ミスターX	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Y O	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ナニワのラッキー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
四国の井崎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎...~20倍 ㊦...20~50倍 ㊧...50倍~